

それでも住みたいまちへ

まちづくり

名古屋への利便性と古いまちなみ

津島駅から名古屋駅までは電車で25分。通勤圏であり、個人事業主や小企業の会社運営においては、名古屋市内の会社と打合せでも対応できる距離の立地です。SOHO住宅とすることで、日中に地域で仕事をする人口を増やし、地域の活性化に。クリエイターの定住を促せば、地域内から自発的かつ継続的なまちづくりの発案も。

また、保存されてきた「古いまちなみ」という魅力も、SOHOとして活用されれば建物は保存され、まちの活性化にも。

まちなみ＝「人の生活」の景色

「まちなみ」は建物のかたちよりも、そこで生きる人々の様子が景色となり、まちの雰囲気となります。各建物と道とのあいだに中間領域を設け、道と人が関わるように。SOHO住宅は、この中間領域の活用を促します。

住宅のデザインコード

住みたくなるまちとなるよう、住宅にデザインコードを採用します。新築時に適用する項目、既存でも対応できる項目を。

屋根勾配4/10～5/10

瓦の町並みに合わせます。一般仕様としては、メンテナンス時に足場を必要しない5/10まで。

中間領域

道路側1階部分に0.9m以上の庇や縁側、ポーチなどの中間領域を設置し、住宅建物の外部空間での活動を盛んに。

塀の高さは道路から1.4mまで

面で塞がず隙間を設け、みちに対して圧迫感を与えないものに。

水害対策

被災時の緊急対応

寝室は2階に

就寝時に被災した場合、状況によっては身動きがとれず、浸水に対し2階への避難が遅れる可能性があります。とりえず2階であれば、動転していても大丈夫。

避難物資の確保

1階キッチン廻りにおいて日常で使用・保管しているものをそのまま避難物資に。浮倉にあるものは浸水から守られ利用できます。

1階にいたときの緊急避難バリアフリー

高齢者・車椅子使用者など急な2階への避難行動が困難な人々が1階にいたときに浸水が起こったときは、浮倉内に緊急避難し安全を確保します。

災害後復旧のしやすさ・損害の軽減

提案敷地は、道路面から2mの高さまで浸水の可能性があるエリア。浸水時の建物被害は1F床面から1mまでと想定されます。以下の項目に考慮し、建物を計画します。

1階の収納は浮倉へ

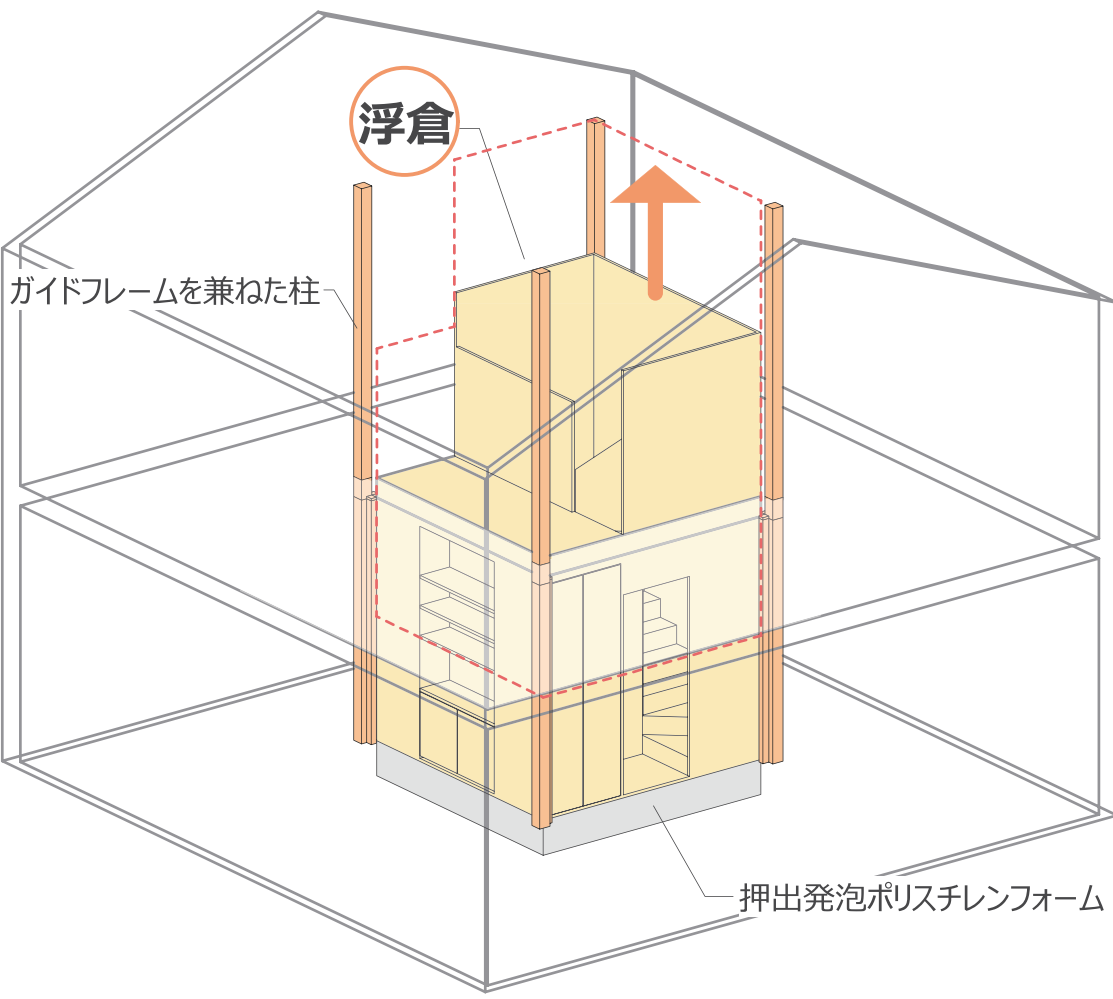
浮倉により被害を受ける家財を軽減。階段廻りの有効にも。

浸水により傷んだ部分のみを補修

外壁を上下部で縁切りし、復旧時に下部のみ取り換え、補修。

スムーズな排水

敷地を400mm盛土します。また、基礎スラブ天端に勾配をとり、基礎立上りに水抜管を設け、浸水被害から復旧する際に自然に水が抜けるように。



浮倉造り

押出発泡ポリスチレンフォーム(比重0.3)と水(比重1)の差を利用すると、フォーム350mmの場合に得られる浮力はおおよそ340kg/m³。階段室と1階収納倉庫を兼ねたボックスをフォームの上に載せることで、浸水時にボックス全体が浮かび、持ち上がるように。

地震対策

耐震性は筋交で等級3を確保

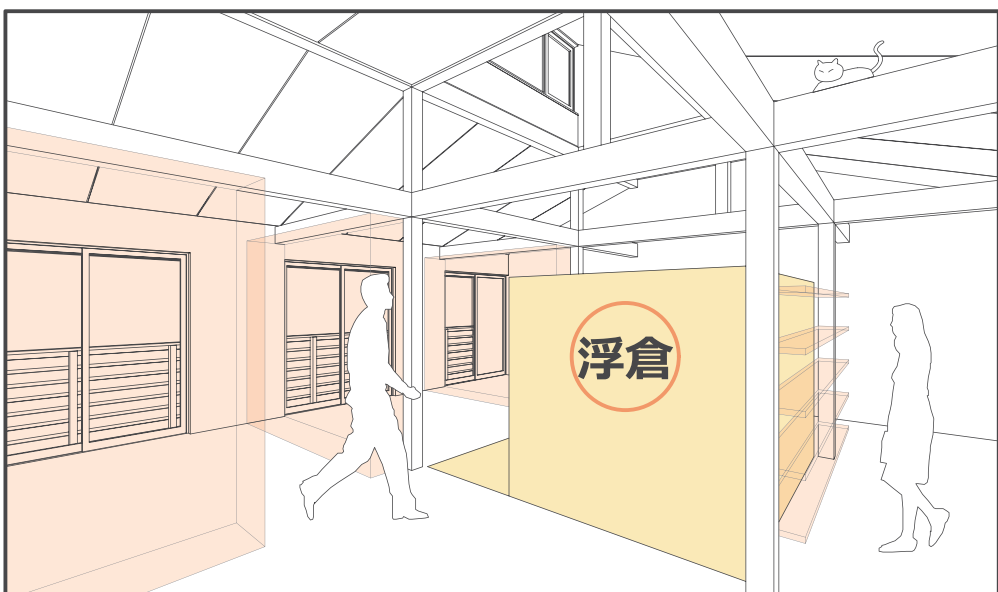
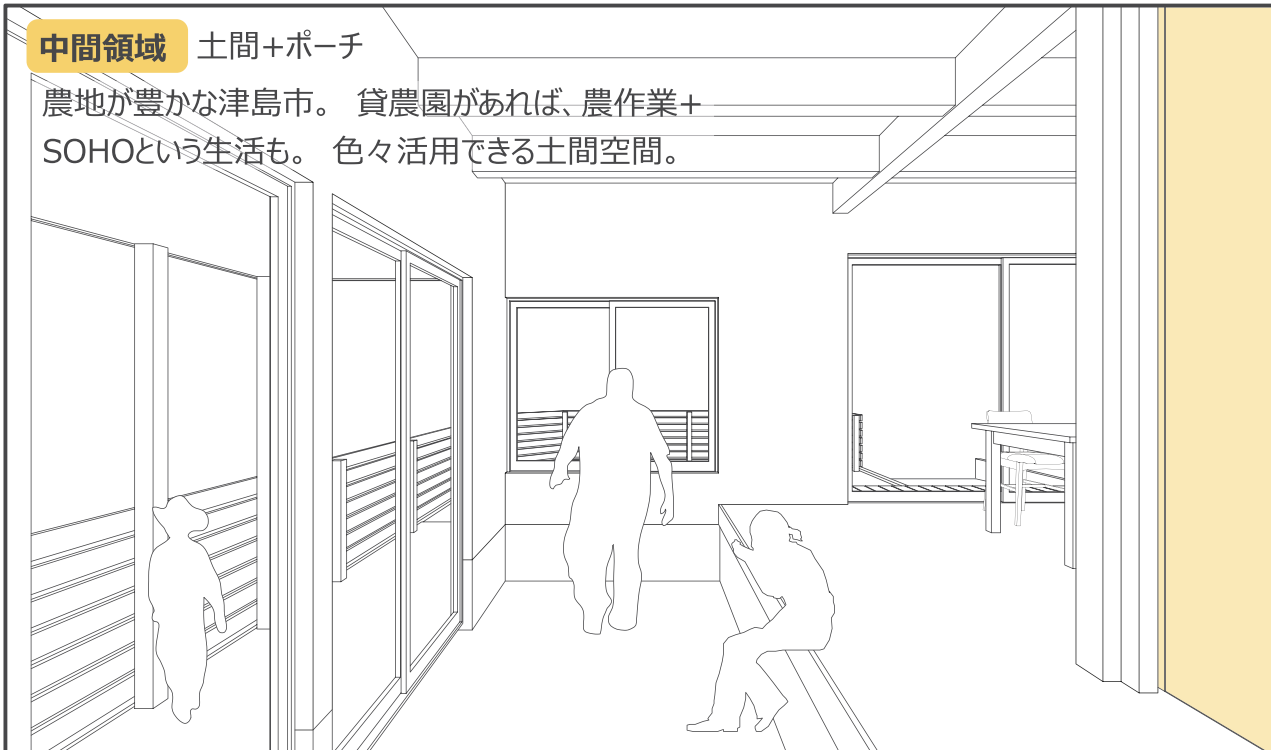
浸水時には、壁の面材が剥がれてしまう可能性があり、余震に対する耐震力の低下が懸念されます。筋交であれば浸水による耐力の低下を軽減。

被害状況に応じ液状化対応

液状化による被害は個々の建物でバラつきがあり、完全に被害を防ぐとなると膨大な費用となり、建物や土地の価格が大きくアップ。地盤改良+ベタ基礎とし、10cm以下の不動沈下程度であれば、基礎下に硬質ウレタンフォーム注入程度で対応、10cm以上であればそれに応じた対応をする、という状況に応じた対応であれば住宅でも一般化が可能。

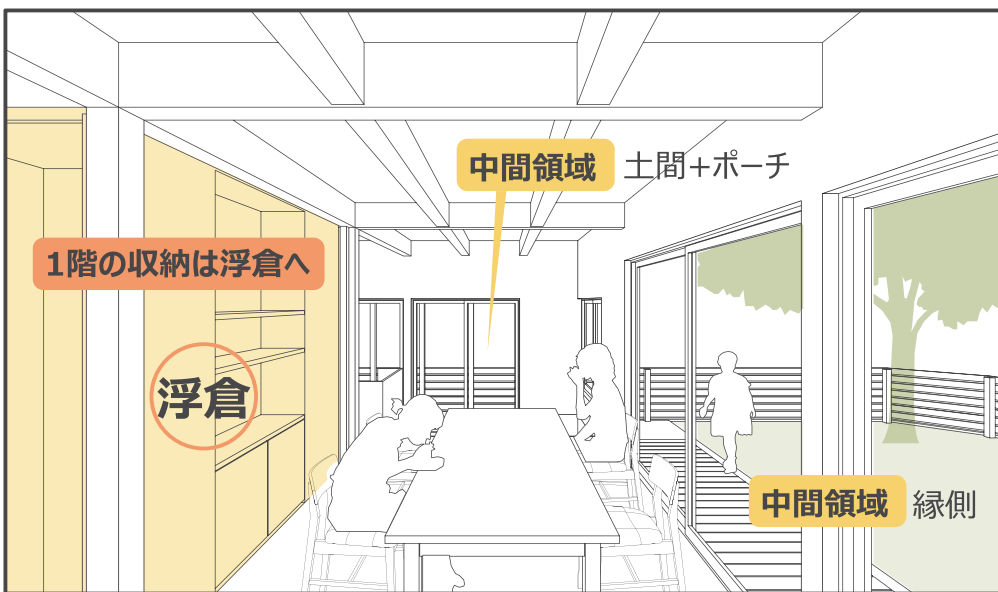
提案敷地：津島市中地町1丁目

津島市中地町1丁目は古いまちなみが保存されている本町筋周辺の住宅エリア。本町筋と一体としてのまちなみの形成、活性化を計画。



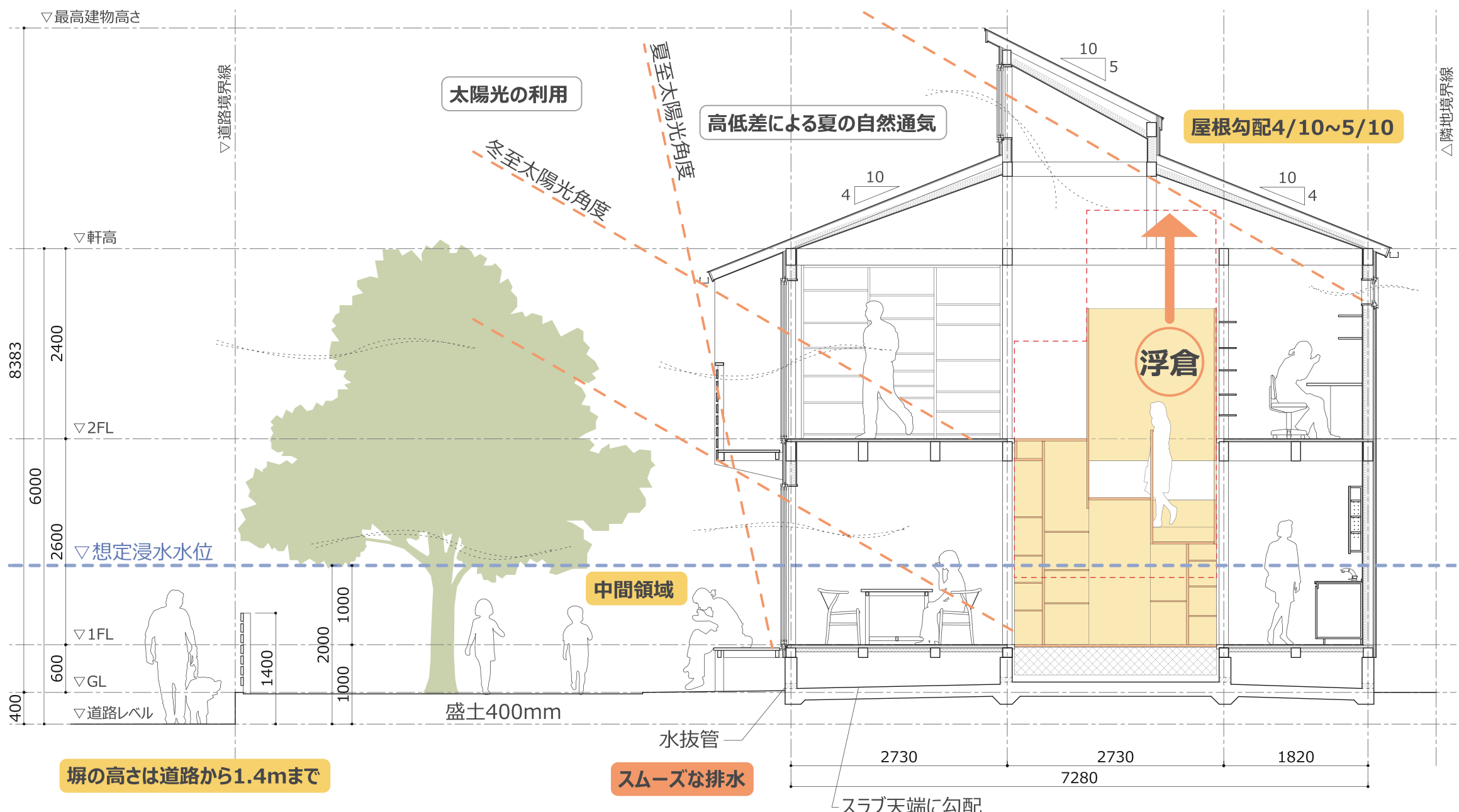
2階は外部からのプライバシー性が高い一室空間とし、必要に応じ家具で個々のスペースを仕切ったり、間仕切り壁を設ける。住まいながらのカスタマイズ。

2階平面図 S=1/100



1階は外部に対し開放性の高い空間であるが、縁側、土間、玄関ポーチなどの中間領域を道路とのあいだに設けることで、落ち着きある空間を確保。

配置図兼1階平面図 S=1/100



断面図 S=1/60